

コミわか 土曜朝市

令和7年度のコミわか土曜朝市終了しました

今年度の「コミわか土曜朝市」は、7月26日から12月6日まで20回計画し、1回は総フェスタへの出店としたため朝市は19回の開催となりました。

雨天に伴う延期は無く8月にお花市、4回のクラフト市、最終日はすいとん振舞いを行い多くの方にご来店を頂きました。北部中学校生徒さんのボランティア(16回延べ34名)とともにスタッフ一同元気に販売活動することができました。ご来店いただきましたお客様、生産者、スタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。

朝市を通して地元農業の支援やコミュニケーションの場を提供しており、売り上げも前年度に比べ僅かながら伸びています。新たに2名の生産者も加わり次年度も皆様のご要望・ご期待に沿えるよう取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(コミわか土曜朝市の会)



子ども体験広場が開催されました！！

11月2日(日)若槻コミュニティセンター体育館にて、「子ども体験広場」が開催され、保護者・子どもさんあわせて約40名の方が参加しました。この事業は「様々なものづくりの体験などを通じて好奇心を育むとともに地域の大人や異年齢、異学校の児童との交流を推進する。運営する地域の大人や参加する異年齢・異学校の児童との交流をしながら、様々なものづくりを体験することでものづくりへの興味・楽しみを知ってもらう」を目的に、今年は長野高専の先生方に協力していただき、サイエンスツアー「飛行機はなぜ飛ぶの？」というテーマでよく飛ぶ紙飛行機の制作をおこないました。



はじめに高専の先生から、モノはなぜ飛ぶのか、その仕組みをお聞きしました。推力とか抗力とかすこし難しい話も出ましたがみんなよく聞いてくれました。次に飛行機の作成。一緒に参加したお父さんお母さんの方が熱心に作っていた家族もちらほら。実際に飛ばしてみたら驚くほどよく飛んでみんなびっくり！お家に持ち帰って飛ばして楽しかったという感想もいただきました。

ご協力いただいた保護者・関係者の皆様、ありがとうございました。

来年も開催しますので是非ご参加ください。

(青少年部会)

バードウォッチング in 昭和の森

11月16日小春日和の快晴の日曜の朝。空気を少し冷たく感じながら、バードウォッチングの会が開催されました。総勢13人。案内人は、日本野鳥の会会員浅川・長福寺住職の小宮山義光さん。2時間ほど林の中を鳥の姿、さえずりを求めて歩きました。遠目にいる鳥の名前を即座に教えていただき、その特徴を詳しく説明され、小宮山さん持参の望遠鏡で目の前に鳥がいるかのようにはっきりと確認することができました。



まず最初に出会ったのはカラス。日本には2種類のカラスがいると言う。ハシブトガラス・ハシボソガラス。林の中を散策しながら14種類程の野鳥を目にすることができた。メジロ・イカル・シジュウカラ・カワラヒワ等。

また、小宮山さんは芽吹きの時季の方が野鳥の数は多いと。夏鳥・冬鳥・渡り鳥。その季節で野鳥も変わってくる。その変化を楽しむのも、バードウォッチングの醍醐味だとおっしゃっていました。

(自然環境部会)